

日本青年団 新聞

日本で唯一の
青年団全国機関紙

No.3
2018

COVER STORY

私たちが災害を風化させない



「生きる」
～東日本大震災と地域青年の記録～



「震災パネル」
被災した仲間の想いが地域を動かす

web生きる

熊本県青年会館のあの日から

熊本県青年会館 大塚拓也

前震が平成28年4月14日夜、そして本震が16日未明、震度7の大地震が熊本県を中心として甚大な被害をもたらしました。私たちの熊本県青年会館でも各所で被害が生じたため、一時的に営業をストップせざるを得ない状況でした。しかし日本財団をはじめ日本青年団協議会、熊本県青年団協議会、各県団の募金活動など、多くの皆様方のあたたかいご支援やご尽力により、復旧に取り組んでまいりました。被災から1年半が経過した現在では、従前どおりとはまいませんが、なんとか会館運営を軌道に乗せることが叶いました。

しかし被災から1年半が経つたとはいえ、地震は熊本のシンボルである熊本城をはじめとしてまだまだ多くの地域で悲しい爪痕を残しています。県内には現在も仮設住宅暮らしを余儀なくされている方々も多くおられます。全国に目を向ければ、止むことを知らぬ天災は次々と猛威をふるい、悲しみが癒えることなくやっけてきています。私たちは受けた傷が癒える間もなく襲い来る災害によって、ひとつひとつの災害が風化してしまうことを懸念しています。今回被災してみても、私たち一人一人が、困難に直面したときにどのような活動ができるかを考えていかなければならない、と強く感じました。



「web生きる」
いつでもどこでも仲間の想いにアクセス

ACTION

自らにとっての「平和」とは何か
地域と障がい者の橋渡し役に
地元を想う気持ちが青年団結成へ
ひとと出会い、まちとつながる

〔石川県〕
〔滋賀県〕
〔島根県〕
〔大分県〕

FOCUS

日青協ってなんだろう

第103巻3号
発行：2018年5月1日

編集・発行
日本青年団協議会

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-1
日本青年館5階

大正5年2月10日第三種郵便物認可
(隔月1回1日)

振替口座 00140-6-37229
年間 2,200円 1部 400円

(送料・消費税込)